

# URP

Osaka City University  
大阪市立大学

## Urban Research Plaza 都市研究プラザ



特色ある共同研究拠点の整備の推進事業  
先端的都市研究拠点（2014～2019年度）  
事業報告

# 本拠点がめざすところ

課題解決志向の  
学際的・実践型  
都市研究

## アジア固有の経験と 先進的課題の探究

- 貧困の都市化
- 都市空間の高度な脆弱化
- 都市行政の制度疲労
- 都市の機能不全
- 欧米発の都市論の限界

停滞する主流派都市研究

- 後発的近代化と高密度都市の形成
- 欧米と異なる福祉概念の存在
- 急速な高齢化・低成長・分権の時代に対応する社会政策へのニーズ
- 政府をリードする地域の革新的実践
- アートがもつ包容力・地域再生力

- **理論的応答** アジアを現場とし、世界の都市研究を刷新する国際学術プラットフォームを構築。若手育成、成果の世界発信を推進
- **実践的応答** 実務家の育成、都市行政間の連携・協力の促進

アジア型包摂都市論の構築

➤ 疲弊する都市から挑戦するレジリエントな都市へ

# 実施機関（都市研究プラザ）の沿革と特徴

2006年4月

都市研究プラザ設立

2007年度

文部科学省グローバルCOE拠点「文化創造と社会的包摂に向けた都市の再構築」採択  
（～2011年度）

2014年度

文部科学省「共同利用・共同研究拠点」  
（先端的都市研究拠点）認定  
（～2019年度）

文部科学省「特色ある共同研究拠点の整備の推進の事業～スタートアップ支援～」採択  
（～2016年度）

2017年度～

文部科学省「特色ある共同研究拠点の整備の推進の事業～機能強化支援～」申請中

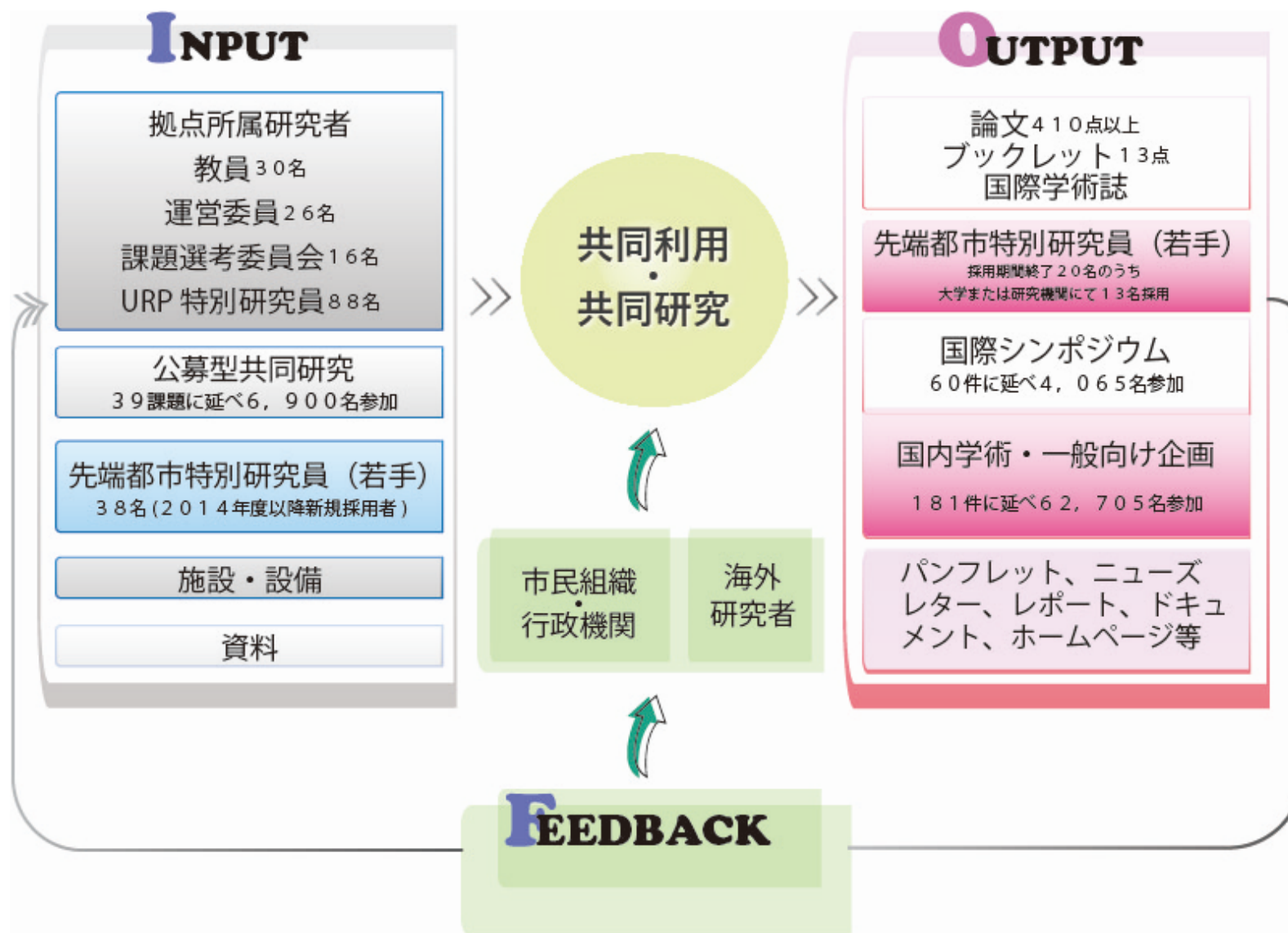
大阪市立大学の  
都市研究がもつ  
**豊かな伝統・  
資産の継承**

現場に根ざし、  
問題解決を見据  
えた**アクション  
リサーチ**の展開

大きな成果を挙  
げる**国際公募型  
若手人材育成**

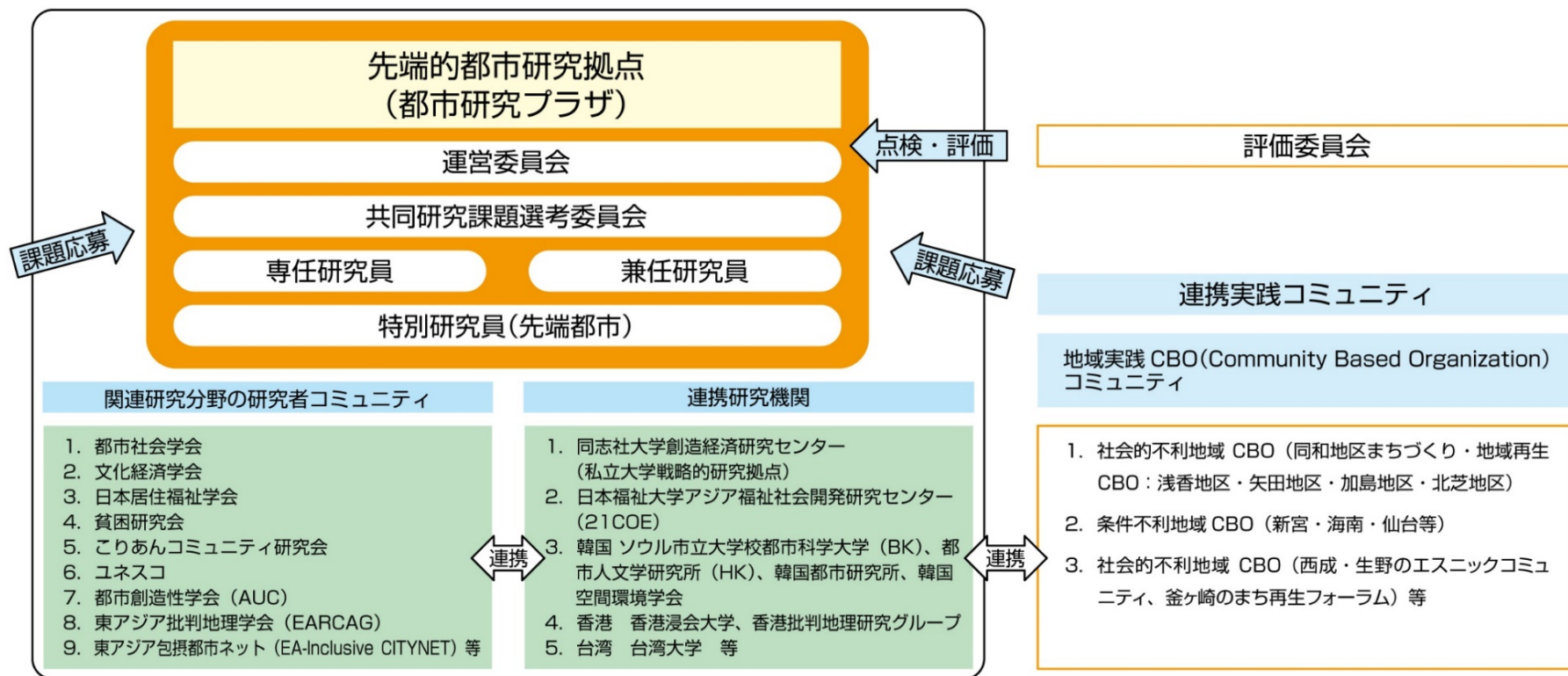
**研究機関同士の  
国際研究交流**の  
実践・拡大

# 拠点活動の全体像（2014～2018年度）



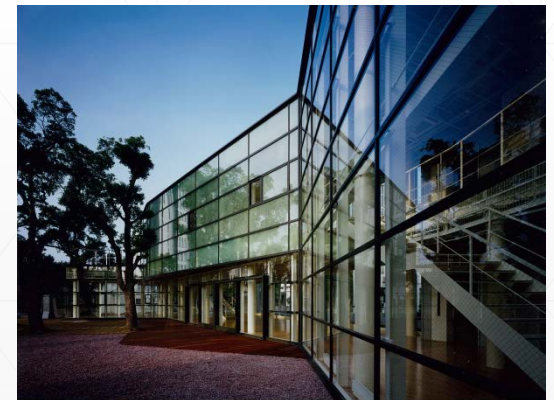
# 組織体制

- 専任教員3名、特任教員6名、兼任研究員15名による個人研究及び学際的な共同研究
- 内部の研究者が主導する共同研究プロジェクト
- 外部の研究者が主導しつつ関連コミュニティ等と協働する公募型共同研究
- 国際公募による先端都市特別研究員（若手）



# 利用できる主な資料・設備

- **都市研究プラザ事務棟（地上3階 665.14m<sup>2</sup>）**
  - 教員研究室、共同研究室、コーディネーター室
- **高原記念館（地上2階 1,488m<sup>2</sup>）**
  - 1階(200m<sup>2</sup>)・2階(300m<sup>2</sup>)に共用スペースを設置
  - 1階の研究交流スペースを研究会等に提供
- **都市文庫 56,290冊（設置1980年）**
  - 閲覧・事務スペース、研究スペースを設置
  - 都市問題に関する広範囲の図書・資料
  - 諸外国の人口100万人以上の都市に関する調査研究文献・統計・資料
- **経済研究所文庫 104,072冊（設置1928年）**
  - 官公庁や民間の統計資料、社史、地方史資料
  - アジア地域の経済文献、基礎資料
  - 各府県別・市町村別統計、地域経済関係統計などの地域経済資料



高原記念館

# 利用できる主な資料・設備（続）

- **学術情報総合センター本館（37,434㎡）**
  - 図書236万冊、電子雑誌18,900誌、マルチメディア1万種
  - 学外の共同研究者に十分応えうる情報処理環境を整備
- **大学ゲストハウス（1999年開設）**
  - 国際学術交流および教育研究活動で来学する研究者の宿泊施設
- **釜ヶ崎アーカイブス**
  - 上畑恵宣氏（西成労働福祉センターに長年勤務）撮影の釜ヶ崎の写真・映像
- **上田貞治郎写真史料アーカイブス**
  - 古写真蒐集家・上田貞治郎氏（1860-1944）が収集した写真・文書史料数千点



学術情報総合センター

# 日本とアジアを動いて繋げるネットワーク型組織



## 連携研究機関

～各国主要都市において都市研究を精力的に推進する大学～

- 韓国 = ソウル市立大学校、国立ソウル大学校、韓国外国語大学校
- 台湾 = 国立台湾大学、輔仁大学
- 中国 = 上海交通大学、香港浸会大学
- タイ = 国立チュラロンコン大学
- インドネシア = 国立ガジャマダ大学



# 公募型共同研究～実施状況

## 3領域による公募の実施

①包摂型創造都市論 ②アートによる社会包摂 ③包摂都市と居住福祉

## 公募型共同研究による成果の概要

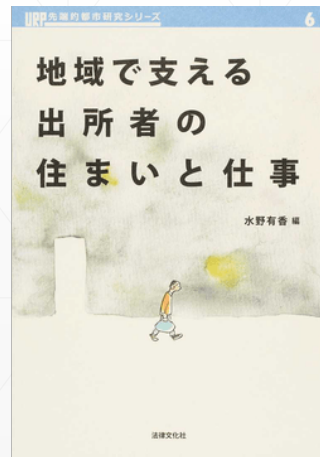
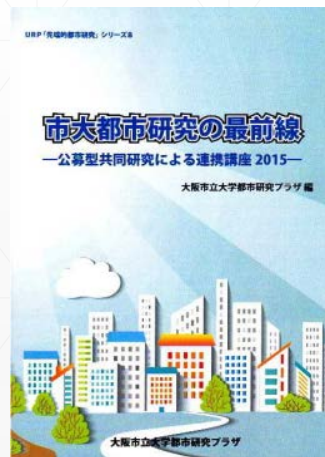
年度	課題（件）	予算（千円）	イベント・成果物（件数または点数）			
			ブックレット	論文	国際シンポ	国内企画
2014	8	4,580	5	96	12	10
2015	11	4,300	3	114	18	19
2016	10	4,597	4	121	5	41
2017	5	750	1	79	4	24
2018	5	750	4(予定)	未集計	5*	16*
計	39	14,977	13+4	410以上	44	110

（\*は27年12月までの実施分）

# 公募型共同研究～当拠点ならではの成果

研究成果を都市と市民に還元 包容力と復元力のある都市づくりにつなげる

- **先端的都市研究シリーズ・ブックレット（5年間で17点刊行）**  
共同研究の成果を学生・一般市民にも利用しやすいフォーマットで提供
- **3地区共同のまちづくり研究会～アクションリサーチの実践**  
大学近隣の社会的不利地域との連携による地域実践モデル構築
- **釜ヶ崎美学学会の立ち上げ**  
被排除空間の都市住民が生と地続きの美的表現を獲得することをめざす
- **刑余者支援～レジリアント都市の今日的課題**  
国内現場プラザや関係機関とも連携した領域横断的なアプローチ



# 2018年度共同研究プロジェクト

- 生物多様性と文化コミュニケーションを組み込んだ都市生態学の新展開
- 現代資本主義と都市の変容
- 人口減少・超高齢社会における都市政策・都市行財政
- 文化的多様性の承認と社会的包摂に向けた東アジア都市間対話
- 包容力ある都市の構想に関する包括的研究
- 近世地域社会史の研究～都市大阪と和泉地域～
- 多民族（多文化）共生社会と包摂型アート&アーツマネジメント
- 臨床音楽学研究～知的障害者を含む音と言葉による対話の場の構築～
- 災害後の文化（特に芸能）の二次創作に関する実践研究
- 多世代共生型地域再生のための障害者支援モデルの開発
- 建築ストックの活用によるレジリエントな都市再生～大阪長屋と近代建築を対象に～
- 災害や機能不全に対するレジリエントなコミュニティづくりや住まい方に関する研究

# 国際公募による若手研究人材育成

- 年2回の国際公募
- 先端都市特別研究員（若手）を採用・育成
- 研究費を支給（うち一部は雇用）して研究者としての自立を支援
- 期間：1年～3年

	人数	課程		内訳		
		PD	DC	女性	他大学出身者	外国籍者
終了者*	<b>39</b>	19	20	21	33	10 (8カ国)
在籍者	<b>7</b>	3	4	4	6	0

\*：拠点認定前の採用者を含む

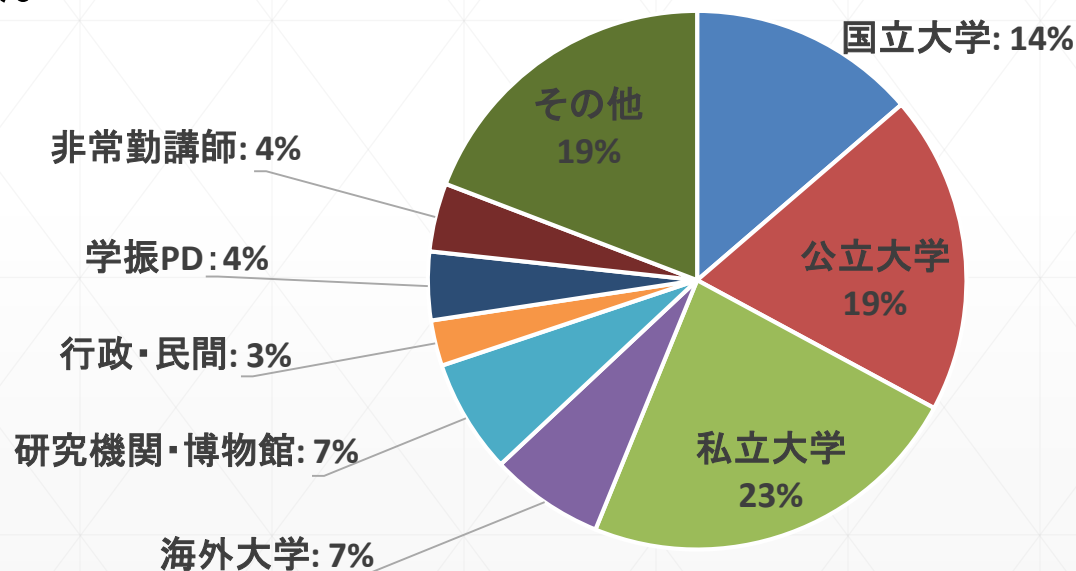
# 国際公募による若手研究人材育成

## 多くの博士号取得者を学術研究機関へ輩出

2014年4月～(拠点認定以降終了者) **70%** (専任・特任教員46%)

2007年4月～2014年3月(拠点認定以前終了者) **81%**

通算 **78.1%**



先端都市特別研究員(PD)73名の終了後進路状況  
(2007年以降)

# 国際学術交流～特色ある都市間交流

海外拠点との密接な連携 行政機関・市民社会との連携を強化する国際展開

## 東アジア都市問題に関する学際的ネットワークの構築

- 第4～8回東アジア包摂都市ネットワーク・ワークショップ  
(香港、台北、ソウル、大阪)
- 第13～16回都市文化研究フォーラム  
(バンコク)
- 第13～16回都市研究フォーラム  
(ジョグジャカルタ)

海外センター・オフィスおよび開催自治体の全面協力で実施。都市研究の最新成果を研究者コミュニティだけでなく、行政機関や市民社会とも共有。

## アジア型アーツマネジメントの唱導

- 第9～12回アジア・アーツマネジメント会議  
(クアラルンプール、マニラ、ヤンゴン、沖縄)

## 最新のテーマを扱うシンポジウム

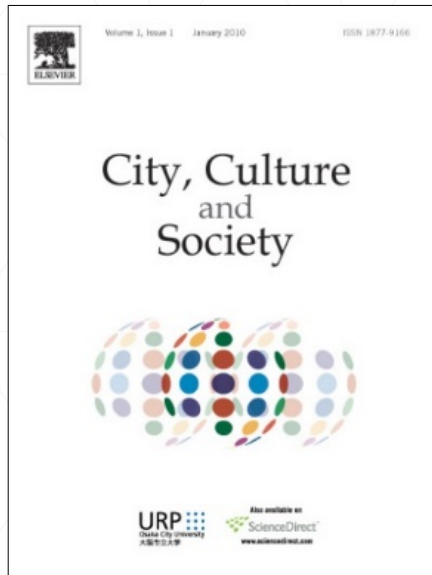
- 包摂型創造都市と文化多様性 (2014年7月)
- 日本居住福祉学会国際比較居住福祉セミナー (2015年12月)
- 都市研究プラザ10周年記念シンポ「復元力のある都市をめざして」  
(2016年9月)

✓ **国際会議開催実績：60件、4,065名**



アジア諸都市を巡回して開催。研究者やアートと社会包摂の領域で活動する実践家が参加。欧米中心型の文化政策・アーツマネジメントに対し、アジア発のオルタナティブ・モデルの構築を模索。

# 国際学術誌の編集・発行



## City, Culture and Society (2010年創刊、Elsevier社より刊行)

- 中堅誌ランクに成長（2019年1月現在、CiteScore: 1.31, SNIP: 0.789; SJR: 0.617）
- 国際的な先端的都市論の構築に資するだけでなく、国内に編集事務局を置く唯一の都市研究分野の英文雑誌として、日本の学術的プレゼンスを高める上でも重要な役割が期待される



## Journal of Urban Culture Research (2010年創刊)

- チュラロンコン大学芸術学部と共同編集
- 都市研究プラザが探究する「アジア型アーツマネジメント」の試みとリンク
- タイ国内の人文系学術誌でトップランク評価

# 研究成果の社会還元～現場プラザによる活動



## オープンナガヤ（協力：豊崎プラザ）

長屋再生、まちづくり研究と実践を架橋する独自の試み。行政機関、NPO、地域住民、関連業界などを巻き込んだイベントに成長。

豊崎プラザにおける10年来の活動をまとめた『いきている長屋—大阪市大モデルの構築—』は2018年日本建築学会著作賞を受賞。

## 船場博覧会（協力：旧船場アートカフェ）

2011年に地域活性化イベントとして企画。2015年からは年2回開催に拡大し、船場地域の建築資源と生活文化を紹介。数千人が来場。





# 先端的都市論の理論的・実践的深化に向けて

	これまで	〔問題点〕	これから ～これまでの取り組みに加えて～
①ネットワークの強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>海外センター・オフィスを活用しつつも、基本的には、本拠点と国内外の諸機関・諸団体との、連携協定の締結等による、一対一の関係の形成・緊密化を重視</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>海外各都市の諸機関・諸団体相互間の連携が不十分</li> <li>海外センター・オフィスが十分に活用されていない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>海外センター・オフィスをローカル・ハブとしたローカル・ネットワークを本拠点をハブとして結びつけることによる、国際的で多方向的なネットワークの形成を推進</li> </ul>
②共同研究の推進・高度化	<ul style="list-style-type: none"> <li>国内研究機関に所属する研究者を主たる担い手とした、社会諸科学の理論を踏まえつつ、実践的課題に取り組む研究の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国内の研究者と国外の研究者との共同研究が不十分</li> <li>実務家を十分に共同研究に巻き込めていない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実務家を含む、都市問題に関わる国内外の多様なステークホルダーを巻き込んだ、より現場に根ざした、実践的な政策提言に直結するような国際的共同研究の推進</li> </ul>
③人材育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>問題発見能力と問題解決能力を備えた実践指向型の研究者の育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>共同研究を組織する能力を有する研究者を十分に育成できていない</li> <li>実務家の育成に十分貢献できていない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>共同研究を組織する能力を有する若手研究者の育成</li> <li>都市問題の解決に実践的に取り組むことのできる、政策立案能力を備えたアクション・リサーチャーの育成</li> </ul>
④研究成果の発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>ブックレット等をとおしての研究成果の社会への還元と、国際学術ジャーナルの継続刊行による国際的アカデミック・コミュニティへの貢献の重視</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究成果を国際的アカデミック・コミュニティに十分に発信できていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際学術ジャーナルへの投稿等による、研究成果の国際的アカデミック・コミュニティへの発信の推進</li> </ul>

# 見えてきた「本拠点がめざすところ」の具体像

